

# ピコスケール計測技術の開発とその基礎科学への応用 中間報告会

日時：2012年3月17日(土) 13:30～18:15

場所：立教大学池袋キャンパス12号館地下1階 第1第2会議室

2009年度から文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業として推進している「ピコスケール計測技術の開発とその基礎科学への応用」は、5年間のプロジェクトのうち、既に折り返し点を過ぎました。最終成果の一層の飛躍を目指して、これまでの研究経過・成果をお互いに報告し議論します。

## プログラム

- |       |                                         |                |
|-------|-----------------------------------------|----------------|
| 13:30 | 初めに                                     | 小泉哲夫           |
|       | B.1.原子・分子・クラスター・固体表面の構造の解明              |                |
| 13:40 | 原子・分子クラスターの構造の実験的研究                     | 場史朗、小泉哲夫       |
| 14:00 | クラスターおよび希ガス固体表面の実験的研究                   | 平山孝人、小泉哲夫      |
|       | B.2.原子核の構造の解明                           |                |
| 14:20 | 高バックグラウンド環境における100keV-1MeV領域イオンの検出技術開発  | 栗田和好           |
| 14:40 | 3次元位置検出型シンチレーターの開発                      | 家城和夫、志賀慶明      |
| 15:00 | 不安定核の構造                                 | 武内聡、本林透、栗田和好   |
| 15:20 | クォーク・グルーオン系の基本相互作用からのアプローチ              | 田中秀和、笹川修司      |
|       | 休憩                                      |                |
|       | A.1.宇宙ブラックホールの探求                        |                |
| 16:00 | X線干渉計望遠鏡のための基礎研究                        | 北本俊二、村上弘志、幸村孝由 |
| 16:20 | 衛星搭載用可搬型計測器の開発                          | 田口真            |
| 16:40 | 惑星探査機搭載用分光器の開発                          | 亀田真吾           |
| 16:50 | 一般相対性理論によるブラックホールの研究                    | 宮本雲平、原田知広、西條統之 |
|       | A.2.時空対称性の探求                            |                |
| 17:10 | 時間反転対称性検証実験、および、ピコ精度画像処理型変位計を用いた近距離重力実験 | 村田次郎           |
| 17:30 | 弦理論による余剰次元の理論的研究                        | 矢彦沢茂明、黒木経秀     |
|       | 休憩                                      |                |
|       | 議論(17:55-18:10)                         | 進行役：北本         |
| 18:10 | 終わりに                                    | 小泉哲夫           |
| 18:15 | 茶話会                                     |                |